

第4回 鋼構造技術継承講演会

～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～



行事コード：25613 略称：4回鋼構造技術継承

先人の多大な努力により建設・管理がなされてきた多くの鋼構造物は、社会基盤を構成する重要な構造物として、今後もその役割を担い続けていくと考えられます。近年、老朽化に対する抜本的な対策として既設鋼構造物のリニューアルが行われつつある中で、建設当時の技術的な背景を理解するとともに、先人が培ったこれらの技術を新しく生まれ変わる構造物における設計、建設技術の発展につなげていくことは、重要な課題のひとつであると考えます。

本講演会では、毎回、大先輩の技術者、研究者の方々に、研究面および技術面における豊富な経験を、現役および次世代を担う技術者、研究者の方々に技術伝承するための講演をしていただいております。

第4回となる今年度は、(株)横河ブリッジにて鋼橋の設計実務に従事する傍ら鋼橋の解析法や設計法の研究に取り組み続けてきた現在(株)ワイ・シー・イー社長の尾下里治氏に、アーチ橋や少数主桁橋における新しい座屈設計法に関するご講演を、早稲田大学において構造力学と鋼構造学の研究・教育に長年携わってきた早稲田大学教授の依田照彦氏に、歴史的な観点からみた鋼橋の設計法と構造力学との結びつきに関するご講演をそれぞれ頂く予定です。両氏のご講演は、新設鋼構造物における設計法の更なる進化とともに既設鋼構造物が直面している課題の解決に大きく役立つでしょう。参加費は無料です。奮ってご参加下さい。

なお、講演会終了後に、講演者の方々を囲む懇談会を予定しておりますので、こちらにもお気軽にご参加下さい。

・主 催

土木学会（担当：鋼構造委員会）

・日 時

2016年12月2日（金） 14：30～17：20

・場 所

土木学会講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

・参加費

無料

・申込締切日

2016年11月25日（金）（申込先着順で100名まで）

・参加申込（講演会のみであり、懇談会は申込み制ではございません）

参加をご希望される方は、以下のサイトからお申込みをお願いいたします。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前までにメールにより参加券をお送りいたしますので、印刷して、当日ご持参ください。

申込後、キャンセルをされる場合は必ず参加申し込み終了前までに事務局宛にご連絡ください。ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問い合わせ先>

土木学会事務局研究事業課 尾崎史治

TEL : 03-3355-3559

メール : [fumiharu-ozaki "at" jsce.or.jp](mailto:fumiharu-ozaki@jsce.or.jp) "at" を@に変更してメールして下さい

・ 詳細 (プログラム)

14 : 30 ~ 14 : 35 鋼構造委員会委員長挨拶

14 : 35 ~ 15 : 50 尾下里治氏 : 「鋼橋の設計実務における座屈設計」

15 : 50 ~ 16 : 00 休憩

16 : 00 ~ 17 : 15 依田照彦氏 : 「構造力学と鋼橋の設計法」

17 : 15 ~ 17 : 20 鋼構造委員会副委員長挨拶

懇談会 (会費制 : 4,000 円 / 人)

場 所 : 土木学会近隣

時 間 : 17 : 30 ~ 19 : 30

*本講演会は CPD 認定プログラムです (2.7 単位)